

第 20 号

2006年12月1日

○発行  
鳥取市立川町5丁目417番地  
鳥取子ども学園後援会  
電話 (0857) 22-4206

○振込口座  
郵便振替 01490-9-9106  
題字 尾崎悌之助



# 鳥取子ども学園 学園だより

## 鳥取子ども学園

### 創立一〇〇周年記念式典式辞(要約)

鳥取子ども学園 理事長 尾崎 悌子

鳥取子ども学園は鳥取市出身の松江孤児院院長 福田平治翁の呼びかけに応えるかたちで一九〇六年(明治三十九年)にキリスト教信徒 尾崎信太郎と日本キリスト教団鳥取教会に連なる人々の協力により「鳥取孤児院」の名のもとに日露戦争軍人孤児救済事業として創立されました。基調はキリスト教の愛の精神です。……

百年という長い年月の間、一瞬も歩みを止めることなく今日が迎えられましたことは本日御出席下さいました皆様をはじめ地域の方々、幾世代にも渡る多くの人達の温かいご支援とご協力によるものでございます。ここに改めてお礼申し上げます。



明治、大正、昭和、平成と激変する時代のなか、社会も変貌し、移りゆく時代

の波に学園も揺れ続けました。

公的支援のない戦前、学園の運営は困難を極め、また昭和十八年の鳥取大震災による園舎の倒壊とその後に移転、戦時中大勢の園児を襲った食糧難など私達の想像も及ばない幾多の困難が続きました。しかし、これらの試練の中にあつて確かな歩みが続けられましたのは行政の理解と鳥取教会並びに地域の人々の協力と愛の精神に裏付けられた歴代の職員の献身があつたからに他なりません。創立当初より「慈善は恩恵を施すに非ず。社会は貧困者犯罪者に対して道徳的責任を有す、されば慈善的行為は社会的懺悔行為である。」という思想のもと賛助会員を募り運営の安定をはかりました。大正から昭和初期にかけて学園に寄せられた援助の数々は地域の人々の温かさを物語る愛の証しとして、子ども学園九十年史の中にしっかりと記されています。……

戦後児童福祉法、社会福祉事業法など社会福祉に関する法律が整備され公的支援である措置制度も確立されました。学園も現在公的支援を基盤に運営されています。当然ながら私達に課せられた公的責任は重く、ガラス張りの開かれた運営は勿論、感謝の気持ちと共に現状を公開し情報を開示して

いくことは責務であると感じています。と同時に公的支援に頼るだけでなく自主財源の確保への努力も怠つてはならないことを切に感じております。今、私達職員一同は「子ども一人ひとりのありのままを受け、子ども一人ひとりのかけがえない命を育み皆が育ち合うことを理想とする。」というこの学園の養護理念を改めて心に刻みたいと思います。トルストイはアンナ・カレー二ナの冒頭で「幸福な家庭はみな一様に似通っているが不幸な家庭はとりどりに不幸である。」と述べています。これは子ども達への対応が措置制度に子ども達を当てはめる包括的養育ではなく、一人ひとりに適合したきめ細かいとりどりの個別的養育でなければならぬ事を物語っています。私達は子ども達との共感と連帯の中で心を一つにして、一人ひとりの幸せを願い心身共に健やかに養育する努力を重ねてまいりたいと思います。行政と地域と職員に支えられて百年を迎えることの出来た今、今後地域に開かれた施設、地域に愛される施設、地域と共にある施設であり続けたいと願います。

百年という節目の場に皆様と共にめぐり合わせましたことを感謝いたします。

神の恩寵に感謝し支え続けて下さいました総ての方々へ心からお礼申し上げますと共にかわらぬご支援をお願いして式辞とさせていただきます。

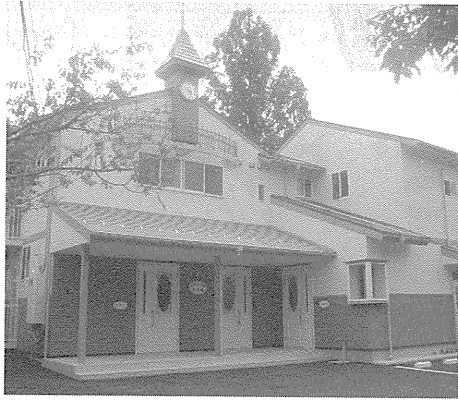
ありがとうございました。

法人本部

☆創立百周年記念事業のい報告

一、鳥取こども学園乳児部の開設と児童養護施設のホーム増設、事務管理部門の統合化などを目指した建設事業  
今年一月三十日に着工し、八月二十八

日に竣工式を挙行することが出来ました。乳児院の名称を「鳥取こども学園乳児部」として、鳥取県からの認可も得て十月一日には開設の運びとなりました。



二、学園墓地の改修

鳥取市の丸山墓地に「鳥取育乳院の墓」があり、創設当初の職員の方々に守られるような形で、子ども達の遺骨が納められています。今でも時折、学園出身者の方の

納骨式を行っています。この度古い墓石も残しながら「神は愛なり」という聖句を刻んだ新しい墓に改修し、九月二十三日には関係者が集まって御披露目もかねて、塩見和夫さんと中江晃さんの納骨式を行いました。

三、鳥取養育研究所の創設を目指して養育研究会事務所を地域交流ホーム内に設けました。

四、百周年記念誌「愛の灯をこもし続ける」の発刊

今井書店の竹内道夫さんの監修で一部作り、十一月十八日の記念式典でお配りすることが出来ました。

五、記念式典・記念講演及び感謝の集い  
来賓挨拶をいただいた片山善博鳥取県知事、深澤義彦鳥取市副市長はじめ約百五十名の来賓を迎えて、厳かにまた心温まる式典が挙行されました。尾崎徹子理事長の式辞、来賓挨拶に続き同窓生を代表して吉田（旧姓志智）加代子さんが謝辞を述べられました。

慶応大学小児医学教室専任講師渡辺久子先生の記念講演は子ども理解と養育の原点を分かりやすく感動的にお話いただき、鳥取こども学園の百周年記念にふさわしい素晴らしい講演でした。

感謝の集いは、鳥取みどり園のホールで行われましたが、市内で「福艦」とい

う寿司屋さんを経営しておられる同窓生の奥羽潤一さんがお寿司を握ってくれたり、若桜町の「氷太くん」の調理長をしている池田征人さんが櫛カツを揚げて下さったりもして、とてもなごやかな会でした。

夕方六時から、対翠閣で会費制による感謝の集いパートⅡが行われ、同窓生、旧職員など旧交を温めました。

総事業費は約一億四千八百万円となりましたが、建設費に対する国と県からの補助金七、五三九万円以外の七、二六一万円は法人負担で、五、〇〇〇万円を目標に寄付金を募っています。

☆創立の精神を引き継ぎたい

この度、乳児院「鳥取こども学園乳児部」(定員十五名)を開設と合わせて児童養護施設を二ホーム増やし、情短施設四ホーム、児童養護施設七ホーム、乳児院三ホーム、ショートステイ一時保護ホーム一ホームの計十五ホーム体制を確立し、一ホーム子ども五〜七名に職員三〜四人を配置しました。施設経営の面では極めて無理をした非常識な体制です。

被虐待など心に深く傷ついた子どもたちをお預かりする者として、今まで、一ホームに幼児も含めて十名の子どもがひしめいており、子どもたちの十分なケア

が出来ていない、人権が守られていない現状を、一刻の猶予も許されないものとして改善すべく創られたものなのです。

私たちは、創立百周年に当たり、制度もなにもない時代に賛助会員を募り唯ひたすら子どもたちのために献身した創立当初の民間キリスト教社会事業の「献身性・先駆性」を継承したいと願い、唯ひたすら子どもたちの幸せを願って敢えて非常識な職員のボランティアリズムと祈りによってのみ支えられる体制を創らざるを得なかったのです。

創立当初は巷にあふれた日露戦争の戦争孤児救出を掲げて「鳥取孤児院・育乳院」として、また戦後は戦災孤児を飢えと寒さから守ることから始まった鳥取こども学園の百年の歩みは、社会が排出するその時代々々の児童問題に精一杯対応してきた歩みであり、その結果今の鳥取こども学園があり、学園は、子どもたちが創った施設とも言えます。

この百周年を節目として更なる前進のために、熱い祈りと有為な人材と多くの財政的支援が必要です。私たちは、もの言えない子どもたちや保護者の代弁者として児童福祉制度改革の先頭に立ちたいと思います。キリスト教社会事業の復興を願い、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

児童養護施設  
鳥取こども学園  
あざみホーム



し声がありません。楽しく、笑顔の絶えない一日でした。あくおもしろかった。

六才 Nちゃん

一番おもしろかったのは、ぐるぐる回る乗り物に乗った時です。初めは、ゆっくりだったけど、だんだん頭と足が逆さになりました。ちょっと怖かったです。お化け屋敷は、怖くて泣きました。あくおもしろかった。

十才 Kちゃん

遊園地で一番おもしろかったのは、ジェットコースターです。長くて怖いジェットコースターと「いもりんす」のジェットコースターに乗りました。動物も見ました。かわいかったです。おみやげはホワイトタイガーのぬいぐるみを買いました。まだ行きたいです。あくおもしろかった。



秋の気持ちよく晴れた土曜日、ホームで姫路セントラルパークへと出かけ、一日よく遊びました。サファリパークでは、ライオン、チーター、キリン、象、等々の動物たちを目の当たりにして大騒ぎでした。もちろん職員も。遊園地では、子ども達は「怖さ」というものがないのか、かなりの恐怖を感じる乗り物にも興じていました。それも何度も…。途中、子ども達について行けなくて青い顔をして座り込む職員もいました。

夕食は姫路市内のレストランで「食べ過ぎー!」と言われるくらい食べました。帰りの車の中はとても静かで、職員の話

鳥取こども学園  
乳児部

院長 田中 佳代子

鳥取こども学園乳児部は、地域のニーズと皆様の厚いご支援のもと、鳥取こども学園創立百周年事業の一環として、平成十八年十月一日に十五名定員の乳児院として開設されました。創立者尾崎信太郎のキリスト教精神に基づいて家庭で養育することが困難な乳幼児をお預かりし、愛をもつて健全に育てるよう努めています。少人数クラス(各五名)の家庭的環境を目指し、個別担当養育により愛着関係を築いて情緒の安定を図り、家族と一緒に乳幼児の養育に当たることを目標として保護者を援助し、家庭復帰につながるようにしていく方針です。乳幼児期は、一人一人の人格形成の基盤を育てる大切な時期であり、多くの体験や声かけによって情緒を育むことや、体質的にもまだ弱いので健康管理にも最善の注意を払うよう努めたいと思います。

現場職員は、看護師三名・保育士九名・セラピスト一名で子ども達の養育に当たっています。事務員・栄養士・調理員、そして院長の田中を中心に、新しい施設

の体制作りに一丸となって取り組んでいます。新任職員も十名いますが、みんな一生懸命取り組み誠意を持って子ども達の養育に当たっており少しずつ形が整ってきました。生協子どもクリニックの森田ドクターも週一回子ども達の診療に来てくださり応援していただいています。

入所児は、十月四名、十一月一名の計五名と一時保護二名ですが、この間一時保護・シヨートステイ等の利用は多く、子ども達の出入りも頻繁で地域の必要性の強さを感じています。先日、五日間入院した子や喘息で点滴の子もあり、病院の付き添いや通院と慌ただしい日々を過ごしましたが、みんな子ども達の笑顔や仕草に癒しや喜びを感じ、笑顔の絶えない日々を過ごしています。重要性や困難さを感じるのは、これからだと思っています。多様なニーズに対応していくためにもしっかりと基盤作りに努めたいと思います。

設立に際し、皆様からの支援金や物品ボランティアのお話も頂き、地域の皆様に支えられていることに感謝する日々です。皆様の思いを子ども達に返さなければ申し訳なく一人でも多くの子ども達の幸せを目指して養育したいと思っております。ので今後ともご支援を宜しくお願いします。

情短施設

鳥取こども学園  
希望館

鳥取こども学園希望館は十一月一日現在、宿泊部門に二十五名の子どもが生活し、通所部門に十五名の子どもが生活しています。今回は宿泊部門で生活している子どもたちの中から、日々生活して感じてたこと思ったことを作文にしてくれた子どもがいますので紹介します。

命って安いのか

T・H

今、ニュースで話題の「いじめ」による自殺。皆さんはどう思いますか。確かにいじめはいけないと思います。でも、いじめられて一つしかない命をやすやすと捨ててよろしいのでしょうか。そうですね、僕は自分の命って安いのかなあと思いました。せっかく自分の親が産んでくれた一つの命をやすやすと捨てていいのでしょうか。いじめにあった人が自殺をしました。じゃあ、母親の苦労はいつなる。今、僕は親がきらいです。でも、嫌われている親は、僕をここまで育ててくれました。とても感謝しています。だから

僕は、一つしかない命を大切にします。だから、いじめにあったからって、やすやすと命を捨てるなど絶対に反対です。いじめにあつて深い傷を持っているかもしれないけれど、自殺などは考えないでください。

もし、自殺などをしたら悲しむ人はたくさんいます。まず、一番悲しむのは親です。だから、いじめられても自殺だけは考えないでください。もし、いじめられている人は親を頼りにしてください。必ず親は助けてくれます。一人で解決しようとしなくてください。一人で解決するよりも二・三人、たくさんの人と解決したほうがいいです。

そして、いじめられた自分を皆に伝えれば、いじめはなくなると思います。むしろ、いじめなどあつてはいけない。皆さんは、もしいじめられたらどんな思いをしますか。皆だれでも嫌な思いをします。そんな思いをしながら自殺した小・中学生がいます。

僕はニュースで、二度といじめの話題を聞きたくないです。だから僕は「いじめ」「殺人」「戦争」のない平和な世界がくるのを願っています。

自分の命は一つしかない。その一つの命を大切にしましょう。その命がつかえるまで。

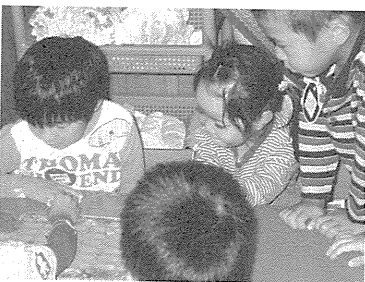
保育所

鳥取みどり園

“生きる力”を

園長 入江一枝

乳幼児期は生活と遊びが中心であり、遊ぶ力、生活する力を育てたいと思っています。生活力が低下し、やってみようという力が弱く、自分にできそうもないことは初めから挑戦しないし、一度失敗したらもう先に進もうとしない子どもが増えてきています。めりはりある関わりと遊びの中で十分に五感を使って手、指、身体で遊ぶことが大切であり、遊びの仕掛人は保育者です。自分の目、耳で見聞きし、自分の頭で考えいるんなことに興味をもって挑戦し、思考力・言語力・コミュニケーション力・想像力・創造力・自己コントロール力が養われます。生きる力の土台ができ、学童期からの学力にもつながるのではないのでしょうか？  
深まりゆく秋。どんなに科学が発達しても、自然から貰う活力を大切にしていきたいと思



お部屋訪問  
(すみれ組3・4・5歳児)

笑顔いっぱい二十九名！

保育士 田中志保

未満児クラスだったかわいいう年少児と共に、すみれ組二十九名のにぎやかな生活が始まりました。四月当初から元気一杯のすみれ組。一人ひとりが個性豊かで毎日泣いたり怒ったりと、子ども達の表情は、とても豊か。子ども達の表情や何気ないつぶやきに、私たち保育士も大笑いしたり、時には驚かされたり。日々変化する中で、子ども達の成長を感じています。又、コーナー遊びを通し、異年齢でのかかわりも、どんどん深まってきています。年長児が、年中、年少児に遊びのルールを知らせたり、優しく言葉をかけ、共に成長を喜ぶ姿も見られ、思わず笑みがこぼれます。そして、すみれ組のお楽しみは、遊びだけではなく、食べる事！毎口、おかわり分も空っぽになる程！二十九名全員出席の毎日です。心も体もたくましく育ち、「たて・よこ保育」を通し、支え合える仲間（しゅんご）を目指しています。

### 子ども家庭支援センター 希望館

当センターが設立してから七年が経過しました。この間に児童相談所、各児童福祉施設、地域社会の各関係機関・団体とのていねいな連携のもと、ひとつの相談に真正面から対応し、何とか地域社会に必要な機関として知られる存在となってきたように感じています。

いつも、電話や面接でお話を聴かせていただいています。悩み、不安、混乱、焦燥感、孤独感、無力感、喪失感…。その背景には、これまで生きてきたその方の歴史があるのだと分かります。いま直面しているどうしようもない感覚が伝わります。喜びもそこにはあるのです。

また、今年九月二十・二十一日に、全国児童家庭支援センター協議会総会が鳥取で開催され、全国六十一ヶ所の児童家庭支援センター職員と交流ができ、新たな気持ちになれたことも良かった点です。

ところで、当センターは十二月初旬に移転しました。天神川を背にして、地域交流ホールの左側(旧フレンド)となります。電話相談(二十四時間三六五日)や訪問相談の他に来所相談(月々金の九

時(十八時)もしておりますので、お気軽にご利用いただければと思います。

### 自立援助ホーム 鳥取フレンド

自立援助ホーム鳥取フレンドは、今年度もさまざまな援助を頂いて、ここまできています。春には、国際ソロプチミストより鳥取支部の推せんを受け、「子どもへの援助金」ということで五十万円の寄付を頂きました。又、昨年度より、鳥取更生保護女性会の方による夕食作りボランティアも受けています。

そして、つい先日は、鳥取西ロータリークラブ様より、軽自動車一台の寄付を頂きました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。と同時に、寮生たちへの適切な援助を今後も求めていきたいと考えます。一時的には安定しているかに見える生活をしていても、根底ではもろいことも多く、彼らの本当の意味での自立を、見据えて、皆様からの援助を彼らの為になるよう、反映していきたいと思っております。

今後ともご支援のほど、よろしく願います。

### 自立援助ホーム 倉吉スマイル

寮長 田村 崇

現在倉吉スマイルでは、六人の子どたちが仕事に就き、自分のペースに合わせて生活をしています。

先日、自転車二台パンクしたので、子ども一人に手伝ってもらい、三キロ離れた自動車整備工場に修理に出しに行きました。

その帰り、二人で自転車に乗ってスマイルまで帰りましたが、緩やかな長いばかり道の大変さを始めて体感しました。毎日みんなは、仕事が終わるとこの道のりを上って帰ってくるんだなと思うと、とても感心してしまいました。

翌朝、子どもたちに、「バス停まで送ろうか?」と思わず言ってしまった寮長です。



### 「行事(鳥取みどり園関係)」

- 6月4日 鳥取みどり園バザー
- 8日 時計店見学(高垣・小谷・綾木時計店)
- 17日 参観日(保育参観、座談会)
- 29日 歯科検診(今田歯科医師)
- 7月6日 プール開き
- 19日~20日 個別懇談会
- 27日 わくわく子育て支援センター「育児講座」講師 田丸尚美氏
- 28日 卒園生のつどい
- 8月5日 納涼祭
- 25日 プール納め
- 9月15日 風紋館敬老の日の集いに銭太鼓をもつて訪問(年長児)
- 18日 修立地区敬老会に出演(年長児)
- 23日 運動会
- 10月3日 交通安全教室
- 13日 園外保育(二歳以上児全員)(久松山、おおち谷公園)
- 15日 私立保育園保護者会連合行事(いも堀り…こどもの国)
- 18日 鳥取市同和保育指定保育所公開保育(当園)
- 28~29日 修立地区文化祭に描写展
- 11月2日 健康診断(清水内科医師)
- 10日 焼きいも大会
- 21日 感謝祭



当学園事業へのご寄付・100周年記念募金・後援会へのご加入に感謝申し上げます。

前回報告以降、現在まで、ご寄付いただいた方々、及び100周年記念募金・後援会に賛同（会費納入）していただいた方々は下記のとおりです。心より感謝し、ご報告申し上げます。

寄付者 (2006.6.1~11.30)

(敬称略)

Table with 5 columns of donor names and their affiliations. Each column header is '氏名' (Name). The entries include names like 井上仁一, 岡田知賀, 河村実則, etc., along with their respective organizations such as 鳥取福祉会, 青谷子ども学園, 赤星進二郎, etc.



氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
宮崎 有代	森本 志津	山田 忠義	(有) 亀井 堂	米井 肇
宮田 弘子	森本 多恵	山中 捷二・友子	(有) 創美 美容室	よねさと保育園職員一同
宮本 幸子	森本 征司	山中 憲一	(有) 高橋 カメラ店	米谷 健彦
宮脇 仁美	森脇 美恵	山根 健太郎	(有) 田中 鉄工業所	米本 勝彦
美和保育園職員一同	森脇 美恵	山根 健太郎	(有) 堀 鍍金工業所	米本 内忠
向井 保一	八上保育園職員一同	山根 章明	(有) 八木 設計事務所	米山 忠一
迎山 恵一	安田 義孝	山根 節美	湯谷 真利	若林 尚健
武庫山千代乃・優介氏	安場 香敏	山根 美智子	湯野 利正	渡田 美由紀
無名	安場 香敏	山根 百詠	湯村 佳子	(株) 岩田 兼商店
村尾 隆敏	安本 良さつ	山本 本勝	横井 俊夫・桂子	(株) 久松 伊吹植物園
村尾 一さ	安田 口龍彦・喜	山本 本清	横井 雄介	(株) 樟 設備設計事務所
村上 一ツ子	数田 龍彦・喜	山本 本高	横山 房亮	(株) 清水
村中 一仁	数田 龍彦・喜	山本 本寿	横山 山亮	(株) 千代 エンジニアリング
村中 一英	山内 上川	山本 本智	吉沢 三恵	(株) 高田 商店
村松 幸一	山内 上川	山本 本伸	吉田 一陽	(株) たぶち
門司 徹子	山川 口	山本 本秀	吉田 加代	(株) 徳田 商店
森川 一生	山川 口	山本 本美	吉田 初恵	(株) 鳥取 朝日広告社
森下 幸和	山川 口	山本 本光	吉田 満里	(株) トリベイ
盛田 和子	山川 口	山本 本淑	吉田 裕治	(株) ニシ
盛田 和子	山崎 三郎	山本 本好	吉田 由喜	(株) 光商
森田 洋悟	山下 昭	山本 本村	吉田 由美	(株) プリストンタイセンター
森田 洋悟	山下 昭	山本 本村	吉波 弘	塔 寛子
森原 正一	山下 篤	山本 本村	吉波 弘	以 後 実千代
森本 嘉一	山下 義	(有) イナバ 葬祭センター	吉波 弘	
		(有) 亀井 堂	吉村 健一	

物品寄付者 (2006.6.1~11.30)

(敬称略)

氏名	氏名	氏名	氏名
NTTコミュニケーションズ(株)	フェニックス鳥取店	鳥取ライオンズクラブ	青木 美奈子
山根 一昭	(株) 資生堂社会福祉事業団	中山 政一	山根 収
海藤 ひろみ	福田 光明	福谷 良則	手皮 小四郎
福田 光明	玉川 平浩	レカコ株式会社	西山 美和子
香川 恵	福田 紀男	森永乳業(株)中国支店岡山営業所	森脇 田次
ばに 一に	(有) ながた茶店鳥取	赤穂 英子	澤戸
黒川 和子	塔 寛子	湯本 敏雄	
坂本 晴信	鳥取ライオネスクラブ	大 樹 寺	
松川 紀恵	松原 菜津子	西村 一秋	
(株) ヤマネ機材 山根茂	能登 信一	田原 明子	

会費・寄付金・創立100周年記念募金は下記へ

鳥取子ども学園後援会事務局：〒680-0061 鳥取市立川町5-417 鳥取子ども学園内

☎ (0857) 22-4206・21-9551 FAX 23-0242

振込み口座名義：社会福祉法人鳥取子ども学園 理事長 尾崎 淑子

振込口座：郵便振替 01490-9-9106 山陰合同銀行鳥取営業部 普通 3422812

鳥取銀行本店 普通 7645611

お願い

この「学園だより」は、当法人にご理解、ご協力いただいている皆さまに、施設の様子やご寄付等を報告する意味で発刊し、お送りしています。

同封しています寄付金・会費・創立100周年記念募金の振込み用紙は、あくまでも皆さまの便宜を考慮のことです。

今後とも、当法人を温かく見守って下さいますよう、心よりお願い申し上げます。